

# 放課後デイサービスそら 個別支援プログラム

事業所名 児童発達支援・放課後デイサービス そら

作成年月日 2024年11月22日

事業所理念：尊厳ある人として、未来に向かう子どもたちに配慮ある社会を実現する

支援方針：全体発達を促し、見る・聞く・触れるから「わかる力」に繋げる。

営業時間：平日10：00～18：00 長期休み 10：00から16：00

送迎実施の有無：有

## 本人支援の5領域項目支援内容

### <言語・コミュニケーション>

口腔機能訓練、発声訓練から、口腔内の筋肉を鍛え、発語を導きます。

言語の受容と表出により、人に向かう気持ちを育てやり取りを育みます

コミュニケーション手段の選択と活用から要求やヘルプメッセージを引き出します

### <健康・生活>

食事指導、清潔習慣、ごろんタイムを通して健康状態の維持に努めます。

排泄指導、着脱指導を通して自立を促し、水分補給にゴクゴクタイムを作ります。

視覚的支援から一日の見通しを育て生活習慣や生活リズムを形成します。

### <運動・感覚>

公園のアスレチック、事業所内の庭で自転車乗り、かけっこで体力作りをします。

まねっこ体操から視知覚訓練と筋肉のコントロールを強化します。

感覚遮断ハウスや一人になれるスペースを用意して感覚特性への配慮をしています。

### <認知・行動>

具体物を使っての数遊び（すごろく）や筆圧を高める遊び（ぬりえ）をします。

点つなぎ、めいろ、パズルを使って空間把握の認知形成をします。

感覚や認知の偏りからのトラブル時には、コミック会話やロールプレイングをします。

一人30分間、個別での課題遊びをすることで認知面の向上に向けて取組んでいます。

社会経験を広げるために買い物や、外食、郵便局、公共交通機関を利用します。

伝承遊びや、かくれんぼなど、ルールを理解してみんな遊びを楽しみます。

絵本の読み聞かせで、ストーリー理解と情感を育みます。

宿題に取組む習慣をつけ、集中力と発達段階に応じた基礎学力をつけます。

行動の切り替えが難しい場合は、タイムタイマーの電子音で切り替えを支援します。

### <人間関係・社会性>

「〇〇したかったけど△△する」から行動調整をはかり、社会性を発達させます。

プレイセラピーで心の解放に努めます。

ロールプレイングで自己理解を深めます。

イメージを共有しての見立て遊びから、人との関係性を育みます。  
情緒不安の時は、チームで安心できる環境を一人のために用意します。

## 家族支援

お茶とお菓子をご用意して、定期的に保護者様交流の場を開催しています。  
普段からタイムリーにLINEで連絡を取り合い、情報を共有しています。  
家族様からの相談に対して適切な助言や、ペアレントトレーニングを行っています。  
特性に配慮した適切な家庭環境の整備を提案しています。  
就労や家族事情による、預かりニーズに対応する為の支援を行っています。

## 移行支援

保育所や放課後児童クラブへの移行支援として、連絡を取り合っています。  
地域の児童館、地域住民との交流を通して、地域との繋がりを大切にしています。  
ライフステージに向けて途切れのない支援の在り方を、協議し準備していきます。  
地域で暮らす他の子どもと、繋がりながら普段の暮らしができるよう取組みます。  
保護者様の意向を踏まえ、定期的に学校と会合を持っています。（トライアングル事業）

## 地域支援・地域連携

保育所・学校との情報連携や、医療機関への同行受診を行っています。  
事業所の専門性を地域の子育て世帯に向けて、相談援助の機会を提供します。

## 職員の質の向上に資する取り組み

- 1, 事業所内研修や外部研修に参加しています。
  - ・虐待防止研修・身体拘束適正化研修・感染症予防研修
  - ・強度行動障害支援者養成研修（基礎研修）
  - ・経験と専門性を有する内部職員等による研修  
(特別支援教育士、心理士、元ことばの教室指導者、元支援級担任  
精神保健福祉士・カウンセラー)
- 2, 療育開始前のミーティングの充実。
  - ・日々の療育計画案と実行、改善を常に話し合っています。

## 主な行事等

- 1, 春 お花見遠足・春野菜の種まき・紙飛行機を飛ばす会
- 2, 夏 プール遊び・びわ湖で泳ぐ・夏休みクッキング・外食
- 3, 秋 お出かけ（子どもの国・水生博物館等）・ドライブ  
野菜の収穫・栗拾い・街中探検
- 4, 冬 クリスマス会・大そうじと年越しラーメンを食べる会・節分の会